

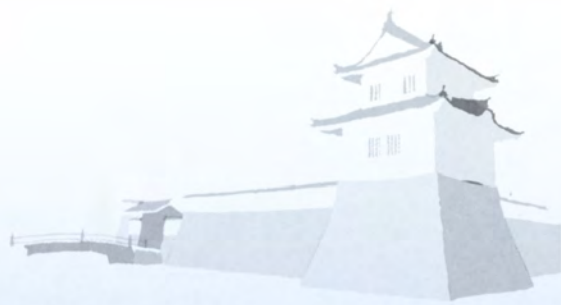
# 赤穂市の 自然と歴史

から

# 文化

を楽しむ。

=文化財を活かした地域づくり=



赤穂市教育委員会

## 発刊のことば

兵庫県赤穂市は温暖な気候の中、周囲を緑なす山々に囲まれ、南は風光明媚な瀬戸内海国立公園に面し、中央には清流千種川が流れているなど優れた自然に恵まれています。

また、市内を貫流している千種川が上流から下流へと瀬戸内海に注いでいるように、時代文化も古代から中世へと同じく下り伝播しており、数多くの遺跡、旧跡が残されています。とりわけ、全国に誇る忠臣蔵や塩に関わる遺跡、文化財は貴重な歴史的資産であります。

このように、先人が残してくれた赤穂固有の自然・歴史・文化など恵まれた地域資源を活用し、更なる郷土の魅力を高めるために、本市では『水とみどりにつつまれた 歴史文化交流都市』の実現に向けて、諸施策を推進しているところです。

赤穂市は、市民ともどもこれら恵まれた自然・歴史・風土を守り、育むことが大切なことと考え、諸施策で整備した施設を積極的に開放しており、スポーツ・レクリエーション、生涯学習、憩いの場として幅広く活用いただき、個性と魅力ある新しい赤穂のまちづくりをさらに進めていきます。

発刊にあたり、全国に向けて赤穂の魅力を発信する一助になればと切望するとともに、市民の方々がふるさと赤穂を誇れ、潤いや安らぎを感じていただきますよう期待するものです。



平成16年3月

赤穂市長

豆田 正明







三之丸大手門



# あ こう 赤 穂

～城と城下町～

中世以降に形成されたこの地には、戦国時代、岡豊前守によって「加里屋古城」が築かれたとされています。その後、生駒氏、宇喜多氏による領国支配を経て、慶長5年(1600)、播磨一帯を支配した池田氏の時代となります。池田氏は加里屋の地に「搔上城」を築き、城下町とその基盤となる上水道を整備しました。

その後正保2年(1645)に常陸国笠間(現在の茨城県笠間市)から入封した浅野長直は、城下町を拡大整備し、現在の赤穂城を築きました。城内には、大石良雄宅跡や近藤源八宅跡の長屋門が残されており、本丸門をはじめとする諸門・石垣といった城郭遺構の復元整備が進められています。

## 国指定

### 1、赤穂城跡

現在の赤穂城は、浅野長直によって寛文元年(1661)に築城された、甲州流軍学を生かした城郭です。

慶長5年(1600)播磨一国を支配した池田輝政は、その西端の守りとして末弟長政を赤穂に配し、「搔上城」を築かせました。その後は岡山池田藩の誕生によって、安定した代官支配が長く続きましたが、正保2年(1645)に赤穂池田藩は断絶、常陸国笠間より浅野長直が入ってきました。長直は塩業の発展を背景として赤穂城を大幅に改築し、また城下町を拡大整備するなど、赤穂の町を大きく発展させました。

明治時代になって城内のほとんどの施設が売却されて荒廃が進みましたが、石垣が大きく破壊されることはなく、縄張が良好に残っています。昭和46年(1971)の国史跡指定以来、発掘調査や復元整備が積極的に行われており、平成14年(2002)には発掘された本丸庭園・二之丸庭園(錦帯池)が国名勝に指定されました。また、二之丸庭園の南には「花見広場(元禄桜苑)」が整備されており、元禄期の桜を含めた200本以上の桜が植樹されています。



赤穂城跡全景







赤穂城跡

# 本丸



## 国指定 2、本丸庭園



本丸庭園

一般に、城には天守があると考えられていますが、赤穂城には天守台のみが築かれ、天守(閣)はありませんでした。本丸内には藩邸があり、発掘調査によって池泉が3箇所発見されました。最も大きな池泉はいくつかの入江と岬をもち、池底に瓦や板石を敷き詰めた構造をもっています。その凝った形状がさまざまな庭園空間を創り出し、四季折々の風情が楽しめます。平成14年(2002)には二之丸庭園とともに国名勝に指定されました。

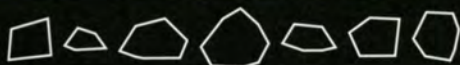
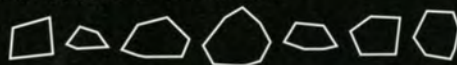


本丸門

## 3、本丸門

本丸跡には昭和3年(1928) 県立中学校(旧制)の校舎が建てられ、門の桁形石垣などは取り壊されて校門として利用されていました。しかし、明治初期に撮影された写真が残されており、発掘調査や文献調査などの成果もあって、学校校舎撤去後に本丸門を復元することができました。

桁形門は最も防備の厳しい施設であり、本丸の表玄関にふさわしい姿を見せています。



桁形門とは高麗門と櫓門の2門からなり、櫓門の階上では、土日祝日のうち一定の時期に内部の無料公開や企画展示を行っています。

また公開日は、赤穂城跡に関する説明ガイドが、「赤穂城愛護協会」のボランティアによって行われています。



櫓門階上展示室

## 4、厩口門

浅野時代の名称で、森時代には「台所門」とも呼ばれ、日常の通用門として利用されていました。門は残されていた礎石をもとに復元しており、やわらかく暖かみある木造の高麗門と反り橋、白壁の漆喰塼、そして苔生した石垣などが外堀の水面に映る姿は必見です。



厩口門

## 5、芻橋門

日常は渡ることができないように芻ね橋となっている非常門で、「不浄門」とも呼ばれています。門の内側は、発掘調査の成果や絵図から、中央の石段に左右から坂道が取り付くように整備しています。



芻橋門





# 赤穂城跡 二之丸

国指定

## 6、二之丸庭園



二之丸庭園発掘調査

二之丸には、家老職で浅野家に重用された大石頼母助良重の屋敷と、総面積約18,000㎡を誇る大名庭園があります。平成10年(1998)より全面的発掘調査を行い、水のゆったりとした流れを楽しむ上流部と、舟遊びができる下流部に大きく分かれる、さまざまな情景を楽しむことができる貴重な庭園であることが判明しました。平成14年(2002)には、本丸庭園とともに国名勝に指定されました。指定以来、精力的に復元整備を行っています。

## 7、花見広場 (元禄桜苑)

県立赤穂高等学校の運動場となっていたことが、発掘調査を行った結果、遊水池が発見されました。この遊水池は、上水道が城下町や城内に給水された後、その余水が本丸堀へ落とされてから海へ排水されるまでの調整池的な役割を担っていたようです。

現在は野鳥観察のデッキが整備され、池周辺には江戸元禄期に咲き誇ったとされるさまざまな品種の桜も植えられて、元禄桜苑として憩いの場となっています。



花見広場

## 8、米蔵跡休憩所



米蔵跡休憩所

高校のグラウンドであったこの場所には、江戸時代の絵図によると米蔵2棟が描かれていましたが、発掘調査では1棟分の長大な建物礎石列が発見されました。さらに、この建物を横切る排水溝跡が見つかり、水手門から赤穂城外(海)へ排水する構造も明らかになっています。

休憩所の内壁には、米俵などの荷物が当たることで壁が傷まないよう「荷すり木」と呼ばれる木材を埋め込み、外観同様、米蔵の雰囲気を感じることができるようになっています。

## 9、水手門

絵図によると赤穂城のすぐ南側は海であり、水手門は海に面した門でした。発掘調査でも、門前には石の階段(雁木)や波除けのための突堤が発見され、直接船を横付けできる構造であったことがわかり、往時の海城を髣髴させる整備としています。

城の南には城南緑地として総合体育館、武道館、野球場、テニスコートなどがあり、バリアフリーに配慮したデッキを設けて城と連携した利活用ができるようになっています。



水手門





赤穂城跡

# 三之丸



## 10、大手門枅形と隅櫓



大手門枅形

赤穂城跡の北東隅に位置する赤穂城の玄関口。太鼓橋を渡って門を抜けると、当時の最も厳重な防御施設である枅形が広がります。枅形内には櫓門礎石の平面表示や、案内所を兼ねた番所風休憩所が平成15年(2003)に整備されており、ここで赤穂城跡の概要を知ることができます。土壘上にある二重櫓は昭和30年(1955)に再建されたもので、赤穂城の玄関口にふさわしい威容を誇っています。



国指定

## 11、大石良雄宅跡

江戸時代、三之丸内には、赤穂義士で有名な大石内蔵助良雄や片岡源五右衛門高房ら、赤穂藩重臣の侍屋敷が構えられていました。

明治維新後、赤穂城内の多くの施設は売り払われましたが、浅野家の菩提寺であった花岳寺の仙珪和尚がこの屋敷跡を買い取り、庭園や長屋門を保存するとともに、赤穂義士などを祀るための赤穂大石神社を創建しました。長屋門を含む大石良雄宅跡は、大正12年(1923)に国の史跡に指定されています。



大石良雄宅跡長屋門

市指定

## 12、近藤源八宅跡長屋門



近藤源八宅跡長屋門

近藤源八正憲は赤穂城の縄張を行った近藤三郎左衛門正純の養子で、番頭の役職(禄高1,000石)であったことから大手門に近接して屋敷が配されていました。

長屋門は江戸時代後期になって改築され、現在ではその一部のみが保存されているに過ぎませんが、江戸期の数少ない建築遺構であり、赤穂市指定文化財(建造物)に指定されて復元整備公開されるとともに、赤穂城愛護ボランティアの拠点ともなっています。



## 13、武家屋敷公園

昭和58年(1983)に整備された公園です。東側にある歴史博物館から赤穂城へ入ると立派な土塀が見え、城の雰囲気を高めてくれます。園内では建物間取り表示のほか、当時の武士が自給自足のために栽培していたとされる薬用、食用になる草木が植えられ、隣接する四阿、芝生広場で休憩することもできます。

この周辺では城の石垣に使われている花崗岩に触れることができ、また隠れた花見スポットにもなっています。



武家屋敷公園





# 城 周 辺

## 14、赤穂市立歴史博物館



歴史博物館

国の重要有形民俗文化財である赤穂入浜式製塩用具を中心にした「赤穂の塩」、模型・絵図・出土遺物等による「赤穂の城と城下町」、史実と文化の両側面からとらえた「赤穂義士」、出土遺物・映像等で説明する「旧赤穂上水道」の4テーマを主題とした「塩と義士の館」です。建物の外観は、かつてここにあったとされる米蔵をモチーフに造られています。

赤穂の歴史に関する史料収集、調査研究を行うとともに、1年に数度、4テーマに関する特別展示などが行われ、多くの観光客も訪れています。

## 15、赤穂市立民俗資料館(旧日本専売公社赤穂支局)

県指定

赤穂で使われていた日常生活用具や、農耕生産用具、美術工芸品などの、5,000点を超える様々な民俗資料を収蔵・展示しています。資料館の建物自体は、塩専売法の施行に伴い設置された塩務局の庁舎として、明治41年(1908)に建築されたものです。日本最古、また現存する唯一の塩務局庁舎一連の遺構として、さらに洋風建築として明治建築史上においても重要なもので、建物自体が兵庫県の重要有形文化財となっています。



民俗資料館

## 市指定 16、花岳寺山門

正保2年(1645)、浅野長直が赤穂入封と同時に父長重の菩提寺として建立した寺で、その後赤穂藩を治めた、永井氏や森家の菩提寺ともなっています。境内には浅野家墓碑、赤穂義士の墓碑、義士宝物館、義士木像堂などがあり、赤穂藩や義士関連資料が数多く保存されています。なお、山門は城下西惣門を移築したもので、市指定文化財です。



花岳寺山門

## 市指定 17、赤穂緞通



赤穂緞通加里屋工房

赤穂緞通は、江戸時代末期、児島なかによって考案されました。すべて手作業によるもので、その独特な色合いと文様は当時の人気を得、皇后の御召列車や東宮の御船、枢密院玉座の敷物として利用されるなど、堺、鍋島と並ぶ三大緞通に発展しました。当時の社会情勢によって綿花輸入が滞り衰退しましたが、戦後復活し、その織方技法は赤穂市指定文化財にもなりました。現在は市民の方々の努力により、その技術を継承発展させ、市内各地の工房で伝統工芸品としてよみがえろうとしています。





# 赤穂城下町



息継ぎ井戸

JR播州赤穂駅



土水道

## 18、上水道モニュメント(息継ぎ井戸)

当時、井戸を掘ると海水の混じった水が出たと言われる赤穂では、元和2年(1616)に早くも上水道が完備されました。赤穂上水道は千種川(旧熊見川)の北方7km上流から水が引かれ、城下町では竹樋、瓦管などの暗渠によって、侍屋敷のみならず各町家にも給水された後、赤穂城内を通過して海へ流れ出ていました。忠臣蔵の話で有名な「息継ぎ井戸」も実は井戸ではなく、上水道の汲出枡です。旧城下町には、汲出枡が今も残っており、打ち水などに使われています。



水琴窟



上水道

赤穂城跡三之丸

加里屋は、旧城下町の風情を今なお残しており、市街地景観形成地区に指定され「平成の城下町づくり」として再生されています。JR播州赤穂駅から赤穂城跡大手門へいたる「お城通り」周辺は、大規模な整備事業が行われ、それに伴う発掘調査によって、江戸時代の人々の暮らしが徐々に明らかになってきました。

### 赤穂城下町跡の発掘調査



赤穂城下町町家跡

赤穂城下町は、慶長5年(1600)に池田輝政が播磨を治め、弟の長政が赤穂に配されたことに始まります。赤穂市教育委員会では近年多くの発掘調査を行い、当時の建物の構造や生活の様子が少しずつ明らかになってきました。

左の写真は上側の道路に面する町家跡です。建物の境界となる石列のほか、多くの礎石、各町家に配された上水道が発見されています。

上水道は、開渠で山裾の導水路を通り、城下町の手前で暗渠になって各町家に給水されました。町家の発掘調査を行うと、400年もの間に使用され続けた上水道関連施設が目前に出土します。

右の写真は、竹樋、瓦管、陶製管が幾重にも改修されている様子で、それに伴う枡もたくさん出土しています。



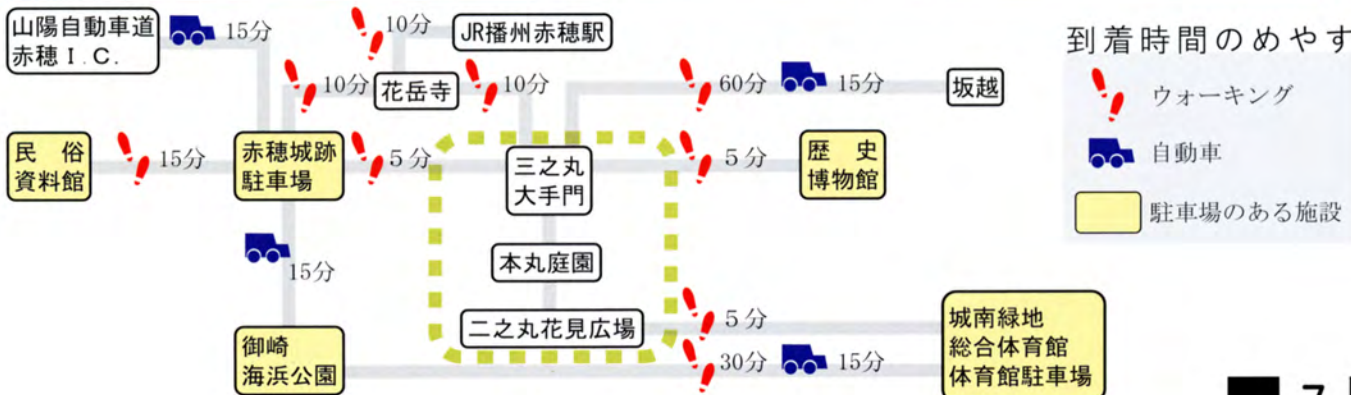
錯綜する上水道跡





# 城周辺見どころマップ

JR播州赤穂駅







## 塩屋・西部地区

赤穂地区の西側には、塩屋地区や西部地区があります。ここには弥生時代からの歴史があり、岡山県の土器も多く出土している堂山遺跡のほか、播磨・備前国境標石など、西の岡山県との歴史的關係を示す文化財があります。目を移せば、赤穂ピクニック公園、観光牧場、みかん園など、家族で自然を楽しめる施設も多くあります。

### 19、赤穂ピクニック公園

赤穂ピクニック公園は、牧場として使用されていた丘陵地を利用し、周辺の自然歩道と一体となったピクニック、ハイキングの拠点公園として整備されました。9.5haもの広さをもつ総合公園は、四季折々の花、芝生広場、野外ステージ、ちびっこ広場、保存樹林など、自然をテーマとしています。また、市街地から瀬戸内海にかけてのすばらしい展望を楽しむこともできます。

周辺の高山観光牧場では動物とのふれあいができるほか、バラ園やハーブ園の開花期には豊かな香りが漂い、観光ミカン園ではミカン狩りができると、家族連れに楽しいひと時が得られます。



赤穂ピクニック公園



高山観光牧場

### 市指定 20、木造浅野赤穂藩主坐像

赤穂藩主浅野長直、長友、長矩の3躰は、黒漆塗りの厨子に納められたもので江戸中期ころの作とされ、市指定文化財になっています。広大な沼地であった光浄寺一帯は、長直入封以後に新田開拓され、領民の生活向上をもたらしました。藩主の遺徳を敬慕して光浄寺が創建され、長直の命日には法要が毎年行われています。



浅野赤穂藩主坐像

### 市指定 21、鳥撫荒神社獅子舞

千種川水系で舞われた代表的な16種類もの舞が、原型をとどめつつ独特な捻りの技法を加え伝承されています。それぞれの舞は、可憐、優雅、曲芸などに分けられますが、中でもハシゴの頂上で逆立ちし、獅子に活を入れるハシゴ舞は有名です。



鳥撫荒神社獅子舞

### 22、播磨・備前国境標石

播磨国と備前国の国境にある標石で白砂青松の綱崎にあり、景勝の小丘地に建っています。千種川河口沖(瀬戸内海)に浮かぶ取揚島にも同じような標石があります。



播磨・備前国境標石

周辺には、海水浴や潮干狩りなど四季を通じて利用できる自然海岸の恋ノ浜があります。今となっては少なくなった自然海岸沿いを西方に進むと、福浦古池には江戸後期に開発された塩田跡地が一面に広がっています。水辺には全国で希少価値となった海浜植物が自生するなど、往時の海辺情景を楽しむことができます。





瀬戸内海国立公園をのぞむ



おさき みさき  
尾崎・御崎 ~赤穂海岸と  
アミューズメント~

中世までは平地が少なく、千種川が運んできた土砂が新たな土地を増やして集落が形成され、塩田が開発されたのは江戸時代になってからのことでした。現在、かつての広大な塩田跡は住宅をはじめとする文教地区となり、また県立海

国指定  
23、田淵氏庭園・赤穂市立田淵記念館



田淵氏庭園



田淵記念館

浜公園はスポーツ・レクリエーションや家族の憩いの場として親しまれています。

尾崎宮山周辺にある社寺旧跡や御崎にある田淵氏庭園は江戸時代からかわらぬ景勝となっており、落ち着いた風情をかもし出しています。

田淵家はもと尾崎にあり、川口屋と称して塩田・塩問屋、塩廻船を営んでいました。寛文13年(1673)からは現在地に移り住み、文化・文政期(1804~1830)には106町歩(106ha)の塩田を所有し、日本最大の塩田地主になっています。代々の当主は茶の湯に造詣が深く、寄席や茶会を盛大に催し、藩主の御成もしばしばあったようです。

昭和62年(1987)に国指定名勝となった田淵氏庭園は、茶庭(露地)と書院庭園とからなっています。御崎の海浜の傾斜地を利用し、山腹近くの上段には明遠楼や春陰齋といった茶亭と変化に富んだ露地、平地となる下段には数寄屋風の書院と池庭が配置されています。庭園様式は草庵式茶庭・池泉鑑賞式庭園で、江戸時代中期ころの作とされ、約1530㎡の広さを誇っています。

南にある田淵記念館(美術工芸館)は、田淵家から寄贈された数多くの美術工芸品・古文書などを収蔵し、季節感を大切にした展示が毎年催されています。





伝大石良雄仮寓地跡

市指定 24、伝大石良雄仮寓地跡(おせど)

家老職にあった大石良雄は、元禄14年(1702)に、浅野長矩が刃傷事件を起こして赤穂城を明け渡した後、この地に一時居を構え、残務整理のためここから遠林寺(廃寺)に通ったと言われています。

現在はひょうたん池の形をした池泉、もと赤穂城にあったと伝えられる牛石、馬石、庭園と桜の木などが、落ち着いた景色を創り出しています。

この周辺は赤穂八幡宮や普門寺など多くの社寺が建ち並び、町並みも併せて、しっとりした雰囲気になることができます。

市指定 25、尾崎・大塚古墳

赤穂市南部における、古墳時代後期の代表的な古墳です。南に広がる瀬戸内海を眺める絶好の地にあり、おそらくここに葬られた人物の生活も、海と密接な関係があったと考えられます。

古墳は直径約19mの円墳で、内部には長さ約8.5mの石で造られた部屋(横穴式石室)があります。出土遺物から6世紀に造られたものであることがわかっています。



尾崎・大塚古墳



赤穂八幡宮獅子舞

市指定 26、赤穂八幡宮獅子舞

江戸時代の獅子舞は、少なくとも寛文2年(1662)にはすでに行われていたことがわかっています。華やかな雌雄2頭の獅子が天狗のような鼻高2人に導かれ、頭を左右に振って神輿前の悪霊を祓い清めながら御旅所まで進行します。

赤穂八幡宮の獅子舞は、播磨でも特異なもので中四国のものに近いとされ、赤穂市指定文化財となっています。毎年10月の第3日曜日に行われています。



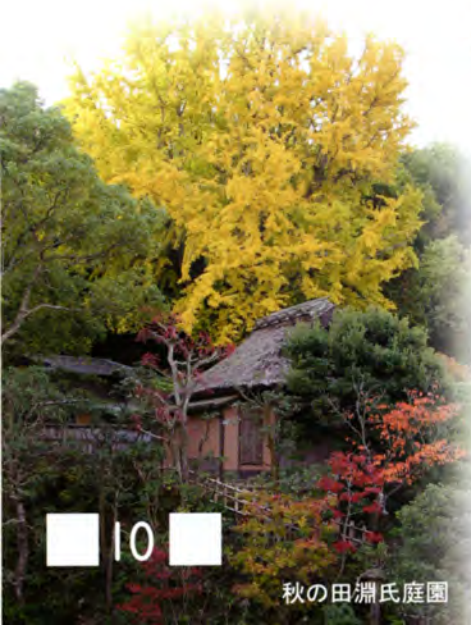
国指定 27、普門寺木造千手観音坐像

普門寺は天台宗園城寺派の寺院で、本堂には平安時代前期の作品と推定される十一面千手観世菩薩坐像があります。高さ104.5cmの一木造で、密教的特色を示す力強い作風を表現しています。

十一面千手観音の坐像としては、県下唯一のものであり、昭和24年(1949)に国の重要文化財の指定を受けています。



千手観音坐像



秋の田淵氏庭園



## 28、兵庫県立赤穂海浜公園

かつてあった広大な塩田跡地には、芝生・池を中心にわくわくランド(遊園地)、わんぱく広場、オートキャンプ場、塩の国、海洋科学館など、1日中たっぷり遊び学べる楽しいアミューズメントパークがつけられています。園内ではテニス、パターゴルフ、カヌーなどが楽しめ、さまざまな方に利用されています。

オートキャンプ場は四ツ星クラスと評価される高規格キャンプ場で、ファミリーサイト38区画、フリーサイト46張、キャンピングカーサイト6区画、コテージ10棟が備えられています。

海洋科学館は、瀬戸内海と塩に関する幅広い情報が得られ、海洋科学・赤穂の自然科学に関する資料を展示しています。模型・標本・映像機器・パソコンQ&Aなどによって、大人から子どもまで楽しみながら科学への興味と関心をもたせてくれます。隣接する塩の国では、大規模に復元された製塩施設によって入浜式塩田での作業や、塩づくりの体験ができます。このほか、古代の揚浜式塩田、近代の枝条架による流下式塩田・釜屋なども復元されています。



オートキャンプ場



海洋科学館



塩づくり体験



塩の国







坂越の船祭り  
(撮影：濱本陸志氏)

さ こ し  
坂 越  
～ 港 町 ・ 船 祭 り ～

古代、難を逃れて漂着したのちに活躍したという秦河勝をはじめ、児島高德、小倉御前の伝説が今も伝えられています。

波静かな瀬戸内海に浮かぶ生島は手つかずの樹林(国指定天然記念物)を残し、それを取り囲むように風光明媚な坂越湾が広がります。

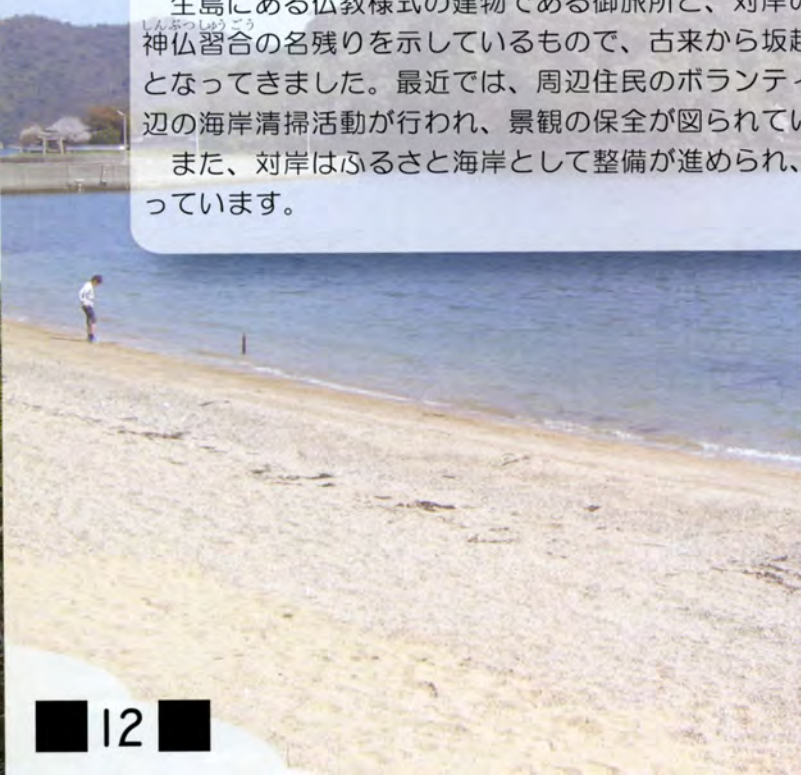
坂越湾は奥深い入江をもつ天然の良港で、中世以降に廻船業が栄えました。港町には当時の面影が偲ばれ風情ある町並みが残っています。大避神社の船祭りは瀬戸内三大船祭として、權伝馬など多くの船が坂越湾に浮かび、壮大な情景が繰り広げられます。

国指定 29、生島樹林

坂越湾内にある周囲1.63kmの小さな島ですが、秦河勝の漂着伝説をもち、古来より大避神社の神地として人の出入りが禁じられたため、樹林は原始の状態をよく保っています。大正13年(1924)に国指定天然記念物に指定されており、特に蔓性植物に富み、昭和32年(1957)には国立公園特別保護区になっています。

生島にある仏教様式の建物である御旅所と、対岸の山裾にある大避神社とは、神仏習合の名残りを示しているもので、古来から坂越の人々にとって信仰の対象となってきました。最近では、周辺住民のボランティア活動によって、島内や周辺の海岸清掃活動が行われ、景観の保全が図られています。

また、対岸はふるさと海岸として整備が進められ、州浜のある海岸がよみがえっています。



生島





港町の面影を残す伝統的建造物群。



木戸門跡広場

### 30、木戸門跡広場

江戸時代には坂越浦の治安警固のため木戸門が設けられ、番人を配して朝夕に開閉していたと言われていいます。現在、木戸門跡はモニュメント整備され、風情を生かした景観に一役買っています。

隣接して休憩所も設置されており、その片隅に建つ道標は、かつて賑わい往来した人々の一里塚となったように、坂越を訪れる方々に、昔の心情を思い出させてくれることでしょう。



### 31、坂越まち並み館

大正末期の旧奥藤銀行建屋を修景整備したもので、坂越の町並み景観創造のための活動拠点となっています。また、来訪者が気軽に利用でき、坂越の町並みを知ることができる案内所を兼ねた中核拠点施設でもあります。

建築意匠等は基本的に変えず、外壁・屋根などの補修整備にとどめて昔ながらの趣を伝え、屋根裏は珍しい竹野地天井となっています。

館内には銀行時代の金庫が今も残されているほか、坂越ゆかりの資料を展示しています。



坂越まち並み館





奥藤酒造郷土館

### 32、奥藤酒造郷土館

奥藤家は慶長6年(1601)以来、酒造りのほか大庄屋、船手庄屋をなし、金融、地主、製塩、電燈等の事業も興すなど、地域の発展を支えてきました。

西国大名の本陣にあてられた奥藤家は築後300年と言われ、複雑な平面形をもつ大規模な入母屋造の建物です。酒蔵は寛文年間(1661~1673)の建築で、高さ2mに及ぶ石垣による半地下式の構造が今も保存されています。

郷土館では、酒造り、廻船、漁業関係の資料が無料公開されています。



奥藤家

市指定

### 33、旧坂越浦会所

一般に「会所」とは、行政や商業などの事務をとるための施設ですが、この会所はそれに加えて赤穂藩の茶屋としての役割を併せ持っており、藩主の専用の部屋(観海楼)があるのが特徴です。また、この会所に関する文献が多く残されており、天保2(1831)年建築であることや、藩主が訪れた際の記事など、当時の様々な状況がわかっています。港に面した入母屋屋根は、平入りの町並み(市街地景観形成地区)のなかで、隣接する奥藤家とともに歴史的港町のシンボルとなっています。赤穂市指定文化財(建造物)となり、創建当初の姿に解体復元整備され、無料公開が行われています。



旧坂越浦会所

市指定

### 34、妙見寺観音堂

真言宗古義派の寺院です。天平勝宝(749~757)ころに創建され、盛時には宝珠山の山腹にかけて16坊舎と5庵をもつ大寺院でしたが、嘉吉の乱(1441)や文明17年(1485)の僧兵一揆により焼失、縮小したとされています。

この観音堂は、享保7年(1722)に再建されたもので、全国的にも例の少ない懸造の形式をもち、坂越湾を一望できる絶好の位置に建てられた、珍しい建築物です。境内一帯は桜の名所である船岡園や茶臼山城跡があります。



妙見寺観音堂

県指定

### 35、黒崎墓所

江戸時代に上方と瀬戸内海、日本海を結ぶ西廻り航路の成立とともに、坂越は諸国廻船で賑わいました。黒崎墓所は、それに伴って坂越浦海域で海難や病気により客死した人たちの墓所です。60余基の墓石は縁者によってそれぞれの地から運ばれ建てられたもので、異国の地に眠る『近世の外人墓地』とも言えます。「他所三昧」「船三昧」と呼ばれ、県指定史跡になっています。

埋葬者は宝永3年(1706)から文久2年(1862)にかけての136人で、南は薩摩種子島、西は対馬、東は伊豆、日本海側の越後、出羽にわたる29カ国に及んでいます。



黒崎墓所



国選  
県指定

36. 坂越の船祭り

大避神社は大避大明神(秦河勝)を祭神としています。船祭りは、坂越全域の氏子により毎年10月の第2日曜日に行われ、海岸で繰り広げられる裸男の勇壮な橋板掛けは必見です。權伝馬船、獅子船、楽船、神輿船、警固船、歌船など総数12隻にもほる祭礼専用の和船が坂越湾を駆けめぐる海上渡御は、瀬戸内三大船祭の一つとされています。

さらに、夕闇が迫ると各船に灯される提灯の火や、海岸沿いに焚かれる篝火を背にして、頭人行列の高張提灯が照らす光景は、湾内一帯に幽玄の世界を創り出し、神秘的でさえあります。

この船祭りは平成4年(1992)に国の無形民俗文化財に選択され、祭りに使用される和船とその船倉は昭和60年(1985)兵庫県有形民俗文化財に指定されています。



坂越の船祭り(撮影：濱本陸志氏)



カキ漁



海の駅(しおさい市場)

海の駅 (しおさい市場)





有年原・田中遺跡公園



うね 有年

～古代の遺跡～

赤穂市内で最も長い歴史をもち、多種多様な文化財があることから、この地域は「赤穂市の文化財宝庫」と呼ばれています。これらの自然や文化財は、住民の手によって永く守られてきたもので、古くは縄文時代にさかのぼり、弥生

時代～中世にいたる大規模な集落跡や墳墓が見つかっています。

現在も豊富な自然環境を残すこの地域には広大な森林公園も整備されており、キャンプなどの野外活動に多く利用されています。

県指定

37、有年原・田中遺跡（公園）

昭和63年(1988)の発掘調査によって、弥生時代後期の大型墳丘墓2基、木棺墓群、祭祀土坑が見つかりました。1号墳丘墓は直径18mを超える円墳で2箇所突起がついています。出土した土器とあわせ、前方後円墳の誕生、埴輪の出現に関わる貴重な資料として評価されています。



発掘された有年原・田中遺跡



墳丘墓出土土器

現在はこれらの墳丘墓等が復元整備され、市民の学習、憩いの場となっています。

県指定

38、西池親水公園（木虎谷2号墳）



西池親水公園

護岸の水辺に水生植物が生育する池はエコパーク親水公園に、陸地の親水広場は身近な憩いの場になっています。また、池畔に建つ農村多目的共同利用施設は、都市と農村の交流を広げる場として提供され、これら立体感のある修景は優れた景観誘導を高めてくれています。

背後にある山地には、県指定史跡の木虎谷2号墳をはじめ木虎谷古墳群、奥山遺跡など数多くの弥生遺跡や古墳群が知られています。



木虎谷2号墳





東有年・沖田遺跡公園



東有年・沖田遺跡出土土器



東有年・沖田遺跡公園ふれあい祭り

### 県指定 39、東有年・沖田遺跡（公園）

発掘調査で見つかった、弥生時代及び古墳時代の大集落跡を弥生ムラ、古墳ムラに分け、各時代の住居跡等を復元整備しています。園内では太古の息吹にふれることができ、時には勾玉づくり、土器づくりといった古代体験学習の場にもなります。



赤穂市埋蔵文化財調査事務所

### 40、赤穂市埋蔵文化財調査事務所

市内の発掘調査で出土した遺物・遺跡の整理を行っている施設です。事務所では出土品の洗浄、接合、実測などの整理調査のほか、収蔵保管、保存処理、展示公開や蔵書閲覧、図書販売などを行っています。

※開館時期は年度によって異なります。

### 市指定

### 41、有年考古館（収蔵資料）

卓越した医学者で知られた故・松岡秀夫氏が、旧赤穂郡の歴史資料の散逸を憂い、その収集と調査研究を目的として昭和25年(1950)10月に設立した考古館です。

考古資料を展示した本館、民俗資料を展示した別館からなり、「日本一小さい考古館」と自称されていましたが、館内では旧赤穂郡のみならず、高い識見と深い学識で収集されたものばかりで、貴重な文化財が数多く展示されています。収蔵展示の考古資料は、一括して市の指定文化財となっています。



有年考古館

### 県指定

### 42、親しまれた文化財（地藏立像板碑・野田2号墳）

この地が「赤穂市の文化財宝庫」と呼ばれるのは、住民の手による文化財愛護が昔から行われてきたためです。

中でも、県指定文化財である地藏立像板碑は「はえぬき地藏」、野田2号墳は「祇園塚」と呼称され、古くから住民に慕われ大切に守られてきた証です。

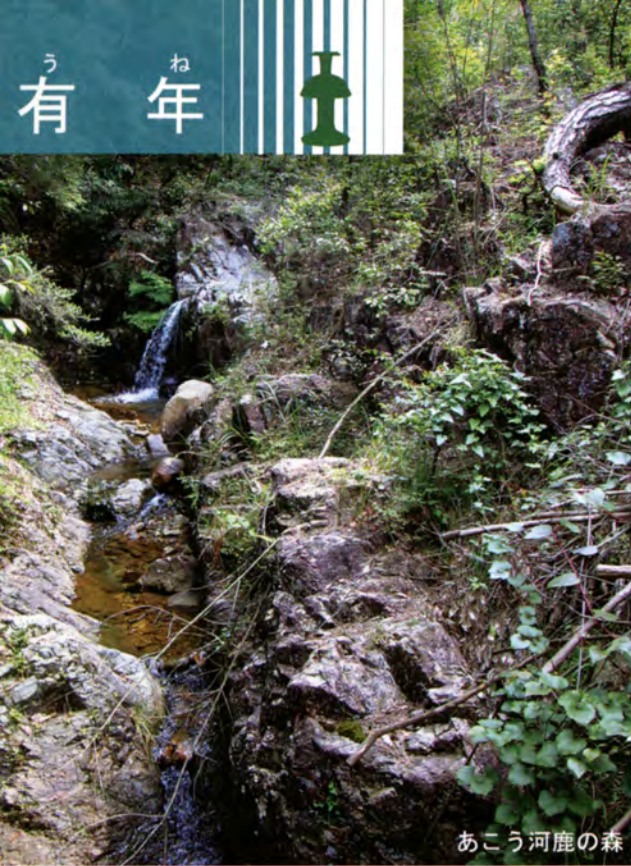


地藏立像板碑



野田2号墳





あこう河鹿の森

### 43、赤穂ふれあいの森・あこう河鹿の森

四季折々の自然の恵みにふれ親しみ、ハイキング・ウォーキングなどのために整備された森林公園です。

赤穂ふれあいの森は、有年横尾の駿行寺から周世の高雄山にある神護寺までの180haの森林です。シイなどの自然林、アカマツ・コナラの里山林などが見られ、珍しい木々や草花との出会いがあります。また、中世山岳寺院の名残りがあある駿行寺や神護寺の周辺には、ロッジの整備されたキャンプ場のほか観察園や観察池、中世山城の鶴ヶ堂城跡には展望台、山裾にはカブトムシの里「かぶ〜んうね」など存分に楽しみ、子どもたちにも大人気となっています。

一方、あこう河鹿の森は、溪流と樹々の間をゆく自然とのふれあいウォーキングコースがすばらしく、初夏のホタル観察、自然観察池周辺のサワガニ、カワムツ、アカザとのふれあい、渓谷の水音と河鹿の鳴き声のハーモニーは魅力的です。



赤穂ふれあいの森 展望台



赤穂ふれあいの森 キャンプ場



赤穂ふれあいの森 陸山池

### 44、奥池親水公園 (塚山6号墳)

県指定

ため池は、古来より農耕の源であり、その環境を生かした親水水路・周回園路・ハツ橋デッキなどが整備され、自然と共生できるため池文化を創造した親水公園となっています。周辺には、クリ園や県史跡である塚山6号墳を含む塚山古墳群や奥山田古墳群などもあり、背後の山々の緑と調和のとれた風景は心を和ませてくれます。



奥池親水公園





### 県指定 45、蟻無山古墳公園



蟻無山古墳公園（山頂）

古墳時代中期における、千種川流域で最大規模の古墳です。直径約50mを超える円形の盛土に突起部分がついた、「帆立貝形古墳」で、周辺からは、朝鮮半島からもたらされたばかりの「須恵器」と呼ばれる土器や、馬の形をした埴輪など、この地域の支配者にふさわしい貴重な遺物が見つかっています。

古墳から見下ろす平野には、弥生時代の大集落跡、有年原・田中遺跡があり、この地域が古来からずっと繁栄していたことを示しています。



### 46、周世地域の文化財

有年地区より3kmほど南にある周世地区の平野には、弥生時代からつづく周世・入相遺跡があります。この遺跡では弥生時代の土器が多く出土し、考古学的に重要な遺跡となりました。また、近くには「周世ふれあい市場」があり、地域の特産品が販売されています。

ここからさらに谷奥にいくと、周世宮裏山古墳群があります。古墳時代後期に築かれたもので、26基以上の横穴式石室が確認されています。これらの石室を覆う盛土(墳丘)の形状は、基壇状となる大変珍しいもので、赤穂の古墳時代後期の地域的特色を示す貴重な遺跡と考えられています。

現在はハイキングコースの一部となっており、どなたでも石室を見ることができます。



千種川のアユ釣り



周世ふれあい市場



周世宮裏山古墳群公園



頁数	番号	件名	お問合せ先	備考
1~4	1~10 ・13	赤穂城跡 (本丸、二之丸、三之丸、花見広場、 武家屋敷公園)	赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	本丸庭園を除き年中無休、見学自由 (本丸庭園 開園時間 9:00~17:00 休園日 12/28~1/4 入園料 無料)
3	9	城南緑地 (総合体育館・武道館・陸上競技場 野球場・テニスコート)	(財)赤穂市公園施設管理協会 0791-45-2091	詳細は事務所問合わせ 赤穂市立野外活動センター(赤穂御崎)も同様
4	11	大石良雄宅跡 (長屋門、庭園、宝物館)	大石神社 0791-42-2054	拝観時間 8:00~17:00 年中無休 拝観料 大人400円小人100円(団体割引あり)
4	12	近藤源八宅跡長屋門	管理事務所 0791-43-1981 赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	土日祝日のみ開館。ただし年末年始、盆は休館 開館時間 10:00~16:00 入館料 無料
5	14	赤穂市立歴史博物館	0791-43-4600	開館時間 9:30~17:00 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 大人200円小人100円(団体割引あり)
5	15	赤穂市立民俗資料館	0791-42-1361	開館時間 9:30~17:00 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 大人100円小人50円(団体割引あり)
5	16	花岳寺山門 (宝物館、義土木像堂)	花岳寺 0791-42-2068	拝観時間 9:00~17:00 年中無休 拝観料 大人300円 中小学生100円 幼児以下無料 (団体割引あり)
5	17	赤穂緞通	加里屋工房 0791-45-0606 中広工房 0791-43-9134 赤穂市観光商工課 0791-43-6838	事前連絡必要 不定期開館 入館料 無料
6	18	上水道モニュメント	赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	見学自由
裏表紙	—	赤穂義士祭・赤穂大名行列	赤穂市観光商工課(観光) 0791-43-6839	12/14
裏表紙	—	三味線製作技法	目坂和楽器店 0791-43-0368	三味線作り(市選定保存技術)
—	—	赤穂玩具博物館	0791-45-7778	開館時間 平日12:00~19:00 土・日・祝10:00~19:00 休館日 火曜日、毎月21日 入館料 大人330円 中学生220円 小学生110円 幼児以下47円
8	19	赤穂ピクニック公園	赤穂市都市計画課 0791-43-6828	見学自由
8	19	高山観光牧場 (バラ園、ハーブ園)	0791-42-0107	開園時間 10:00~17:00 休園日 火曜日(祝日の場合は翌日) 入園料 中学生以上500円 小学生300円 3歳以下100円(団体割引あり)
8	19	みかん狩り	JA兵庫西 0791-42-2651	11月ころ
8	21	鳥撫荒神社獅子舞	赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	体育の日の前の日曜日
裏表紙	—	塩屋荒神社祭	塩屋荒神社 0791-42-2385(大嶋)	10月第3又は第4日曜日
9	23	田淵氏庭園	赤穂パークホテル 0791-43-8000	事前連絡必要 公開月 5月・10月・11月
9	23	赤穂市立田淵記念館(美術工芸館)	0791-42-0520	開館時間 9:30~17:00 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 大人200円小人100円(団体割引あり)
10	24 25	伝大石良雄仮寓地跡(おせど) 尾崎・大塚古墳	赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	見学自由
10	26	赤穂八幡宮獅子舞	赤穂八幡宮 0791-42-2268(中村)	10月第3日曜日
10	27	普門寺木造千手観音坐像	普門寺 0791-42-3669(藤本)	拝観時間 8:00~17:00 年中無休 拝観料 大人300円 中小学生100円 幼児以下無料
11	28	兵庫県立赤穂海浜公園	管理事務所 0791-45-0800	開園時間 9:00~17:00 休園日 火曜日(祝日の場合は翌日) 入園料 無料
11	28	兵庫県立赤穂海浜公園 オートキャンプ場	0791-45-0811	詳細は管理事務所問合わせ
11	28	赤穂市立海洋科学館 塩の国	0791-43-4192	開館時間 9:30~16:30 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 大人200円小人100円(団体割引あり) 入館者は塩作り体験無料(9:30~15:30) 団体は事前連絡必要



頁数	番号	件名	お問合せ先	備考
11	—	海水浴場	赤穂市観光商工課 0791-43-6839	7/21～8/20
11	—	潮干狩り	赤穂市漁業協同組合 0791-45-2260	入漁期間 4/1～7/20 入漁料 中学生以上1,000円 小学生500円 幼児以下無料 カキ漁、シラウオ漁、イカナゴ漁の間合わせも同様。
裏表紙	—	宝専寺恵比寿大黒舞	赤穂宝専寺恵比寿大黒舞保存会 0791-43-1164 (久田)	年始(1/1)
裏表紙	—	赤穂瀬戸内窯	0791-43-8080 (桃井)	赤穂雲火焼 (県伝統的工芸品)
12	29 36	生島樹林 坂越の船祭り	大避神社 0791-48-8192 (生浪島)	10月第2日曜日
13	31	坂越まち並み館	0791-48-7770 赤穂市建築課 0791-43-6827	開館時間 10:00～16:00 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 無料
14	32	奥藤酒造郷土館	奥藤商事 0791-48-8005	開館時間 9:00～17:00 休館日 日・祝祭日、年末年始 入館料 無料
14	33	旧坂越浦会所	0791-48-7755 (財)赤穂市文化振興財団 0791-43-3269	開館時間 10:00～16:00 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 無料
14	34	妙見寺観音堂	妙見寺 0791-48-0555 又は0792-23-0031 (伊藤)	
14	35	黒崎墓所	赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	見学自由
15	—	海の駅(しおさい市場)	0791-46-8600	営業時間 8:00～18:00 定休日 水曜日
裏表紙	—	和船建造技術	湊造船 0791-48-7043	和船造り(市選定保存技術)
—	—	時計ハウス	0791-48-8188 (若松)	事前連絡必要 入館料 無料
—	—	大崎瓦資料館	大崎瓦工業 0791-48-1050	事前連絡必要 入館料 無料
—	—	播州赤穂窯	0791-48-8789 (西塚)	備前焼、赤穂焼 体験陶芸(事前連絡必要)
16	37	有年原・田中遺跡公園	0791-49-3722 赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	開園時間 10:00～16:00 休園日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入園料 無料
16 18	38 44	(親水公園) 西池親水公園(木虎谷2号墳) 奥池親水公園(塚山6号墳)	赤穂市農林水産課 0791-43-6841 見学自由	(木虎谷2号墳・塚山6号墳) 赤穂市生涯学習課 0791-43-6962 見学自由
17	39	東有年・沖田遺跡公園	0791-49-3993 赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	開園時間 10:00～16:00 休園日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入園料 無料
17	40	赤穂市埋蔵文化財調査事務所	0791-49-3691 赤穂市生涯学習課 0791-43-6962	不定期開館 入館料 無料
17	41	有年考古館	0791-49-2008 (松岡医院) 又は0792-88-3758 (松岡)	事前連絡必要 入館料 無料 考古・民俗資料
18	43	赤穂ふれあいの森(かぶ～んうね) あこう河鹿の森	赤穂市農林水産課 0791-43-6841	赤穂ふれあいの森管理運営組合 有年横尾(験行寺) 0791-49-2117 周世(神護寺) 0791-48-7547 (古林)
—	—	赤穂窯	0791-49-3115 (河本)	備前焼
19	46	周世ふれあい市場	赤穂市農林水産課(農政) 0791-43-6840	営業日 毎週木・日曜日 営業時間 8:00～16:00 0791-48-7547 (古林)
—	—	ふるさと高雄資料館	高雄公民館 0791-48-7500	事前連絡必要 入館料 無料 農具・民具

教育委員会生涯学習課(文化財)：0791-43-6962

赤穂市役所(代表)：0791-43-3201

観光商工課(観光)：0791-43-6838

都市計画課(公園)：0791-43-6828

農林水産課(林務)：0791-43-6841

(財)赤穂市公園施設管理協会：0791-45-2091

(財)赤穂市文化振興財団：0791-43-3269

(社)赤穂観光協会(観光情報センター)：0791-43-2602





城西 三味線製作技法



赤穂 赤穂義士祭・大名行列



有年 東有年・沖田遺跡



塩屋 塩屋荒神社祭



高雄 千種川高雄鉄橋



西部 恋ノ浜



坂越 和船建造の技術



尾崎 恵比寿大黒舞



御崎 赤穂雲火焼

千種川



2004年3月発行  
編集・発行  
赤穂市教育委員会生涯学習課  
〒678-0292 兵庫県赤穂市加里屋81番地  
TEL 0791-43-6962 FAX 0791-43-6895  
印刷  
セイコー印刷株式会社